



志保大より

第288号

須恵町シニアクラブ連合会 令和5年11月発行



主な内容

頁

- 若杉クラブ行事紹介
(市町村老連事務局長研修会) 2
(女性部研修会に参加して) 2~3
(秋期一斉奉仕作業) 3
(郡シ連幹部研修会に参加) 3~4
(若杉クラブ創立60周年記念式典) ... 4~5
(第14回会員の集い・会員作品展) 5~7
- 地区クラブ紹介(昭穂若鶴会) 8
- クラブ活動紹介(童謡の会) 8~9
- 会員のひろば 9~10
(大島原若翔会・城山福寿会)
- 医療施設等紹介(岡 医院) 10~11
- 会員訃報(編集後記は休載) 11
- 九十路に生きる(恵西百寿会) 12
- スナップでみる活動(記念式典) 12

表紙写真について

鳥 名：カワセミ
撮影地：須恵町佐谷

須恵川沿いのハゼの葉が色づくころ「ここにカワセミがいてくれたら・・・」。

こんな空想をいだきながら川へ。車中よりハゼの木に目をやると真っ赤な葉の傍に
いるではありませんか！カワセミは眼下の
小魚に夢中でこちらには気づいていません。

カメラの準備もそこそこに車中より慌て
て撮影したのがこの写真です。

須恵川にはオイカワの他にカワムツ、タ
モロコ、バラタナゴ等カワセミの餌となる
魚種が豊富です。河川環境を大切にしたい
ですね。 (写真・文：上杉和稔)

若杉クラブ諸行事紹介

このコラムでは、9月16日（土）に開催しました須恵町シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）の創立60周年の記念式典、第14回会員の集い、令和5年会員作品展、記念祝賀会の特集記事を中心に、前号以降の行事について順を追って紹介します。

令和5年度市町村老連事務局長研修会に参加

若杉クラブ事務局長

藤英 寿

さる8月3日（木）から4日（金）の日程で、43名が参加し3年振りの一泊二日の研修会が行われました。

若杉クラブからは私と糟屋郡シニアクラブ連合会事務局長の合屋会長が参加しました。

研修会は開会行事のあと、講演と意見交換会が2日間にかけて行われました。その概要を紹介しますので参考にしてください。

■講演

演題 「老人クラブとまちづくり」

講師 福岡大学

山田 雄三 助教



講演中の山田助教
(県老連提供)

○今後の地域社会の状況

地域が超高齢者社会への対応の最前線になります。

▼高齢者の要介護者の増加

元気な高齢者が活躍する時代

▼単身世帯・夫婦のみ世帯の標準化

・家族介護の限界

・多様な「家族」形態の登場

▼財源縮小・低成長社会

・限られた財源を効果的に使用

○老人クラブしかない価値や魅力とは

▼当事者性（問題になっている事柄に関して個人的に直接的な体験を持っていること）の強みを持つている。

柄に関して個人的に直接的な体験を持っていること）の強みを持つている。

▼高齢者の方たちが智慧と力を発揮し、自らの手で自らの生きがいや居場所づくりに取り組んできた。

参加者が5班に分かれて、財源確保、活動に関する情報提供の在り方、会員増強、高齢者相互支援活動などテーマで意見交換会を行いました。いずれのテーマも各市町村老連が抱える喫緊の課題で、熱心な意見交換が行われました。翌日の研修で各班代表者が意見交換会の概要を発表しました。

■意見交換会

参加者が5班に分かれて、財源確保、活動に関する情報提供の在り方、会員増強、高齢者相互支援活動などテーマで意見交換会を行いました。いずれのテーマも各市町村老連が抱える喫緊の課題で、熱心な意見交換が行われました。翌日の研修で各班代表者が意見交換会の概要を発表しました。

■参加して感じたこと

現在、若杉クラブが取り組んでいる仲間づくり、健康づくり（スポーツ・介護予防）、社会奉仕活動（社会参加）、学習活動、趣味・レクリエーション、伝統継承

活動、世代間交流などの活動は、これからの地域の超高齢者社会にも貢献できることを実感した有意義な研修会でした。

女性部研修会に参加して

昭穂若鶴会 平田 照子

8月29日（火）、4年ぶりに開催した女性部研修会は、この6月23日に国指定重要文化財指定が公表された糸島市『櫻井神社』の視察研修を行いました。

櫻井神社は、寛永9（1632）年に創建され、檜皮葺き（平成七年の復元で銅板ぶき）三間社流れ造の極彩色豊かで絢爛豪華な龍宮城を想わせるご本殿が完成。社号は『与止妃（よどひめ）大明神』とあがめ奉られたそうです。その構えは、神殿、拜殿をはじめ楼門廻廊、石鳥居、神池、神橋などを備え、辺地には稀に見る壮麗を極めたと言われています。

全国八万八千社以上あると言われる神社では珍しい拜殿・中殿・本殿と並行して設置されている石畳み参道や正面参道黒田長政公寄

（次頁に続く）

進の明神鳥居、福岡県指定文化財の太鼓橋などを見学。また、櫻井神社に隣接し、寛永2（1625）年に伊勢神宮の御分身として、神明造り茅葺三殿、向かって右が内宮（天照大御神）、左が外宮（豊受大御神）を表した独特の建築様式の櫻井大神宮も見学、大変勉強になった研修会でした。

秋期一斉奉仕作業を実施

若杉クラブ事務局長

藤 英寿

若杉クラブでは地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示そうと、9月2日（土）午前8時から、単位クラブが地域の美化作業や資源ゴミのリサイクル作業などの一斉奉仕作業に取り組みました。なお、この日の参加者は27名、地域振興課からはゴミ収集袋の支給と収集したゴミ袋の回収をしていただきました。

郡シ連幹部研修会に参加

若杉クラブ広報部会副

部会長 松本 讓

9月14日（木）宇美町中央公民館大ホールにおいて、令和5年度粕屋郡シニアクラブ連合会の第24回幹部研修会が約200名の参加で開催されました。若杉クラブからは執行部、単位クラブ会長、女性部の合計26名が出席しました。

研修会は午前9時から始まり、開会行事、基調講演、事例・体験発表、記念講演、歓迎行事が行なわれました。

ここでは、記念講演の概要を紹介いたします。

■記念講演

演題 「終活とは何か？」

知って楽しむ終活のコツ！

講師 NPO法人 ふるさと安

心サポート九州事務局長

中橋 優 氏

（行政書士・海事代理士）



講師の中橋 優 氏（幹部研修会講師プロフィールから引用）

④先々の問題（葬儀供養・墓所）
○終活に便利な道具「エンディングノート」

▼「エンディングノート」とは

自分に万一の事が起こり口頭で思いを伝えることが困難な場合に備えて、家族や友人などに伝えたい事柄を記入しておくノートで、終活を効率的に進めるためのツールとして利用できます。遺言書のように法的な効力はありませんが、終活を進めるための第一歩として大変便利なものです。

元気なうちから取り組みましょう。

▼エンディングノートの具体的記載事項の例

載事項の例

- ① 自分史、② 自分の訃報を知らせる人、③ 親戚や友人知人の住所録、④ 遺言書の有無、⑤ 介護に関する希望、⑥ 葬儀供養に関する希望、⑦ 健康について（かかりつけ医など、⑧ 各種名義を誰に継がせたいか（財産分け）⑨ 預貯金や証

（次頁に続く）

券などの財産に関する情報、ぜひ伝えておきたいメッセージ、
 ⑪お気に入りの写真（遺影候補）⑫今後の抱負などです。

■記念講演を聴講して印象に残った言葉

○終活とは、旅立ちの時を、安心して自分らしく迎えるために自分自身で必要なことを準備すること。

○必要な準備は各人によって異なる。
 ○終活に必要なものは、『決断力』と『実行力』である。元気なうちから取り組むこと。

若杉クラブ創立60周年
 記念式典・会員の集い特集

記念式典

若杉クラブ60周年実行委員会

9月16日（土）午前9時からアザレアホール須恵大ホールにおいて、須恵町長平松秀一様、須恵町



祝辞を述べられる平松町長とご来賓の松山議長並びに三角社会福祉協議会会長



記念表彰を受賞された皆様
 後列3列目は若杉クラブの合屋会長、川上副会長、辻副会長

議会議長松山力弥様、須恵町社会福祉協議会会長三角良人様のご臨席を賜り開催しました。
 式典は、若杉クラブ会長合屋浩寿の式辞の後、平松須恵町長、松山町議会議長、三角社会福祉協会会長からご丁寧なご祝辞を頂きました。その後、創立60周年記念事業報告と若杉クラブ高齢者相互支援活動員の記念表彰式を行い盛会裡に終わることができました。

なお、司会・進行は猪谷繁幸健康推進部会副部会長が務め、参加者は約20名でした。

■記念表彰式

若杉クラブの友愛活動に貢献された左記の高齢者相互支活動員の皆様が授賞されました。

- 百田 信子 様（佐谷建正会）
- 猪谷 七乙恵 様（上須恵若水会）
- 長澤 美智子 様（大島原若翔会）
- 秋吉 勝國 様（須恵福寿会）
- 山口 ヨネ子 様（須恵福寿会）
- 大野 賢代 様（旅石豊寿会）
- 志水 須美子 様（新原シニアク）
- 中村 弘子 様（旭ヶ丘旭寿会）
- 相戸 スミ子 様（恵西百寿会）

なお、猪谷七乙恵様、志水須美子さん、中村弘子さんの代理として、それぞれの女性部長ならび会長が受賞されました。

介護のことなど お気軽に相談ください

[特別養護老人ホーム 恵昭園]
 [アネックス 恵昭園]
 上須恵 112-3 須恵町コミュニティバス「恵昭園前」下車
 ☎933-1600

[老人保健施設 若杉の里]
 上須恵 112-79 須恵町コミュニティバス「佐谷河原」下車
 ☎933-1630

「さりげなく喜び」「さりげなく温もり」「さりげなく幸せ」を
 たしかに感じることができる生活を支援します

 社会福祉法人 恵徳会

内科・リハビリテーション・療養型病床群179床

医療法人 成雅会 **泰平病院** 院長 堤 康雅

福岡県粕屋郡須恵町大字新原 14-7
 ☎(092) 932-5881 FAX (092) 934-0045

介護老人保健施設 永寿苑 ☎(092) 933-5335
 認知症高齢者グループホーム 陽だまりの丘 ☎(092) 957-9595
 小規模多機能ホーム むくもりの里 ☎(092) 957-6080
 = 関連施設 =
 配食サービス事業 暖らん便泰平 ☎(092) 933-2790
 介護付有料老人ホーム よかよかの郷 ☎(092) 957-0230

■祝辞紹介

記念式典にご臨席をいただきました須恵町長平松秀一様のご祝辞を謹んで紹介いたします。

『祝辞』

このたび、須恵町シニアクラブ連合会（若杉クラブ）が創立六十周年を迎えられましたこと、またこのような式典を開催されますことを心からお祝い申し上げます。

シニアクラブ連合会の始まりは昭和三十四年頃から高齢者の方のグループができ、昭和三十八年老人福祉法の施行を契機に「須恵町老人クラブ連合会」として結成されました。

以来、半世紀以上にもわたり、「健康・友愛・奉仕」を基本理念として、社会活動に積極的に取り組まれ、現在では千九十名の会員を擁するまでなられ、地域福祉や本町の発展に寄与してこられました。

これもひとえに、歴代会長様や役員及び会員の皆さま方の熱意とご努力の賜物であり、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、須恵町の状況ですが、高齢化率は、令和五年四月一日現在で、人口二万九千三百四十人、六十五歳以上の人口七千六百九十六人で高齢化率約二十六%、福岡県内での高齢化率ランキングは、六十市町村中五十位となっております。介護保険では、三月末で千二百二十四人（約十五%）が介護認定を受けている状況です。福岡県広域連合三十三市町村でも比較的若く元気な町となつていきます。

さらに、六月に開催された「本当に住やすい街大賞二千二十三年福岡」において須恵中央駅が第九位に入賞するという吉報を受けました。

町の願いは、皆様方いつまでも元気で、健康で、自立した自分らしい生活を送っていただきたい。そして社会参加をして大いに活躍をしていただきたいと思います。シニアクラブの活躍により、元気な方が多いと日頃より感じています。

今年、町制施行七十周年の須恵

町と創立六十周年のシニアクラブ連合会、ともに節目を迎えます者同士、「地域共生社会」の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。ご協力よろしくお願ひします。

結びに、須恵町シニアクラブ連合会が今後さらに連携の絆を深められ、「須恵町の力」「社会の力」として大きく飛躍されますことをご期待申し上げますとともに、会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

なお、紙面の都合上、須恵町議会議長松山力弥様のご祝辞の紹介は3月号を予定しております。

第14回会員の集い

若杉クラブ教養部会

部会長 中嶋 三記夫

第14回会員の集いは記念式典に引き続き開催しました。

（次頁に続く）

前川泌尿器科腎臓内科

〒811-2244 粕屋郡志免町志免中央3-6-22

☎092-410-6728

診療時間（日・祝休診）

時間	月	火	水	木	金	土
午前9～12時	●	●	●	●	●	●
午後2時～6時	●	●	△	●	●	△

月・火・木・金…最終受付17:30 水・土…最終受付11:30
（お問い合わせ、ご予約は受付時間内にお電話ください）

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団正信会 水戸病院

TEL092-935-3755

内科(呼吸器・循環器・消化器・肝臓・糖尿病・脂質代謝・内分泌・神経・老年) 小児科、アレルギー科、リハビリテーション科、臨床検査科、禁煙外来、物忘れ外来、各種検診(生活習慣病・胃がん・大腸がん・肺がん・肝臓がん・骨粗しょう症)、各種指導/相談

- 介護老人保健施設 ニューライフ須恵 ☎ 937-1055
- あすなろ訪問看護・ヘルパーステーション ☎ 936-9653
- 居宅介護支援事業所 ケアワイド21 ☎ 957-3321
- 須恵町在宅介護支援センター ☎ 937-0255
- 住宅型有料老人ホーム コンフォート須恵 ☎ 935-3850
- コンフォート須恵デイサービスセンター ☎ 935-3850

幕開き前に若杉クラブ合屋浩寿会長が、300名を超える来場者の皆様に対して、平成21年9月に開催された第一回会員の集いの開催にご尽力された当時の吉松哲一会長（現顧問）のエピソードを交え、「出演者の日頃の練習の成果に盛大な応援をお願いします」との挨拶を行いました。

その後、南米里山王クラブ今村桂子さんのユーモアをおりませた絶妙な司会進行のもと、カラオケ6名、フラダンス2団体、日本舞踊2名、コーラス2団体の合計104名が熱演しました。300名を超える観客から、熱い拍手と声援があるなか、あつという間の1時間半の『シニアフェスティバルオンステージ』でした。

今回の集いは、教養部会の出演係・舞台係に、女性部から4名が応援したことや出演者控室に「出演時間目安表」を掲示したことなどが功を奏し、大幅な時間短縮ができました。

次年度以降もこの事を基本形としていきたいと考えています。

■出演者（カラオケ・日舞）のスナップ紹介



上段右から、日本舞踊の百田弘子さん、カラオケの正木セイ子さん、カラオケの惣田寿美子さん、カラオケの渡辺二征さん下段右から、日本舞踊の山口香寿子さん

（山口晋一さんのカラオケで踊られました）カラオケの木島由利子さん、カラオケの正木茂嗣さんとセイ子さん、祝シゲ江さんです。

■出演者（フラダンス・コーラス）のスナップ紹介



上段右がプルメリアア須恵のフラダンス、左が須恵リンドウ会のコーラス、下段右がマハロフラカヨコのフラダンス、左が若杉クラブ童謡の会のコーラスです。

①①①

太田整形外科

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

須恵町役場ソバ
（アザレアホール横）

☎ 932-8877

株式会社 かすや 葬祭部

福岡県粕屋郡粕屋町大字大隈1229番地
TEL (092) 938-2868 (24時間) FAX (092) 938-0811

やすらぎ 会館

かすや斎場 粕屋郡粕屋町大字戸原325-2 TEL (092) 931-3533
すえ斎場 粕屋郡須恵町大字旅石20-1 TEL (092) 937-4311
こが斎場 古賀市川原1542-2 TEL (092) 944-6511

24時間営業・年中無休でご奉仕させていただきます。

お問い合わせ（かすや葬祭）
ナクハナイチレイ
フリーダイヤル **0120-798710**

令和5年度作品展

若杉クラブ総務

白水 勝元

9月13日(水)の午後から9月16日(土)の会員の集い終了まで作品展を開催しました。例年、会員の集い終了後も展示していましたが、今年は午後からも創立60周年記念行事を開催することから、集い終了後に撤収することになりました。来場の皆様には誠に申し訳なく思っております。

作品展には、若杉クラブのクラブ活動から花卉園芸部が寄せ植え、パソコン教室はパソコンクラフトと人口知能(AI)を使って制作した絵画を出展しました。単位クラブからは、絵画、書道、絵がき、パッチワーク、ペーパークラフト、折紙、写真などがとところ狭しと、展示されました。いずれの作品も皆さんの日頃の楽しみと努力の結晶で、鑑賞された皆さんの目と心を癒してくれました。

出展は41名、50点を超えています。写真は、上段右から、花卉園芸部(寄せ植え)、パソコン教室(パソコンクラフトならびに人口知能を使って制作した絵画)、旅石豊寿会(書道、絵画、ハガキ絵、蛤絵、手芸など)、下段右から、上須恵若水会(ペーパークラフト、折紙、手芸など)、昭穂若鶴会(パッチワーク、絵画)、旅石豊寿会(ハガキ絵)。



上段右は城山福寿会(絵葉書、川柳、習字、絵画)、上段左は上須恵若水会(写真、左は乙植木楽しみ会の絵画です)、下段右は須恵福寿会(書道)、下段左は乙植木楽しみ会(絵画、右は乙植木楽しみ会の絵画です)。



お礼
9月16日(土)の記念式典・会員の集い・会員作品展の開催にあたっては、アザレアホール須恵ならびに役場福祉課のご協力をいただきましたことに対し感謝申し上げます。
若杉クラブ創立60周年
実行委員会

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	手術	●	●	△

休診・・・日曜・祝祭日

 **田原眼科**

粕屋郡志免町志免2丁目2番33号
TEL (092) 935-0112

歯科・小児歯科

木下歯科医院

丁寧な説明を心がけています
お口のこと、何でもご相談下さい
須恵町新原424-4 (新原バス停そば)

☎ 934-2022

受付時間 平日 AM 9:00~12:15
PM 2:00~6:30
土曜 AM 9:00~PM 1:30
往診、時間等お問い合わせください
休診日 日曜日・祝祭日

地区クラブ紹介

昭穂若鶴会会長

村瀬 英夫

現在若鶴会の会員数は、71名（男性24名、女性47名）です。会員の中で、40名から45名が各行事に参加されますが、後の20名から25名の会員が仕事をしている人、入院中または施設に入所している人です。全員出席は難しいのですが、これからの課題であると考えています。

■役員構成

- ・会長 1名 ・副会長 1名
- ・会計 1名
- ・女性部長 1名 ・幹事 9名

■会議等

- ・総会 毎年3月31日開催
- ・幹事会 毎月1回開催
- ・役員会 必要に応じて開催

■年間行事

- ・資源回収 5回
- ・健康と親睦の会 3回

- ・新旧役員歓送迎会
- ・花壇づくり・会員親睦旅行
- ・体力測定会 ・新年会

■その他の活動

『若鶴通信』を毎月発行して、幹事さんが会員宅まで配達して声かけをするようにしています。この『若鶴通信』は、会員皆さんだけでなく、一般の方にも回覧版として各家庭に回しています。

また、令和2年コロナウイルス感染拡大がはじまり、世界中が大変なことになりましたが、私達もほとんどの行事が中止になり、家から一步も出さず悶々としている時、思いついたのがラジオ体操でした。早速『若鶴通信』で皆さんに呼びかけたところ20名前後の人達が集まり、令和2年8月17日からNHKのラジオ体操を行っています。あれから3年、早いもので8月16日で満3年になります。

現在は、ラジオ体操だけでなく、毎日体操前に昭穂児童公園の草取りをしています。また、体操前と体操後に好みに合わせた

てウォーキングをする人も増えています。

これからも、若杉クラブのスローガンの「のぼそう！健康寿命」に向かって頑張って行きたいものです。

クラブ活動紹介

若杉クラブ 童謡の会

西原若草会 武智 正子

童謡の会は、毎月第1木曜日と第3木曜日の午後1時半よりカルチャーセンターで深浦一子先生の指導で練習をしています。毎回先生の指導で柔軟体操とハーモニカの発生練習をします。

その後は、練習の季節に合った童謡を数曲歌います。時々童謡の歌詞をみんなで読みます。読んでいくうちに幼い頃、友達と遊び回った故郷の山や川、家族の食事の団欒、厳しい父の言葉に涙した

(次頁に続く)



社会医療法人 青洲会
青洲会クリニック

診療科 内科 外科 整形外科 泌尿器科
腎臓内科（人工透析）リハビリ科

企業健診 個人健診 日帰りドック

訪問診療 訪問看護 訪問リハビリ

看護小規模多機能型居宅介護「青洲のあかり」
居宅介護支援事業所「ケアサポートS」
青洲会クリニック 通所リハビリ
青洲会クリニック デイサービスセンター 併設

住所：糟屋郡志免町志免4丁目1-7 TEL：092-937-0422

財団法人日本医療機能評価機構
長期療養病院認定医療機関

医療法人 みなみ

粕屋南病院



- 内科 ●腎臓内科 ●人工透析内科 ●循環器内科 ●消化器内科
- 糖尿病・代謝内科 ●リハビリテーション科 ●歯科

口みなみ介護支援センター

口粕屋南訪問看護ステーション

福岡県粕屋郡宇美町神武原

6丁目2番7号

TEL (092) 933-7171(代)

上須恵、一番田、城山経由の
巡回バスを運行しています。

ご入院等のご相談は
フリーダイヤル
0120-862-373

会員のひろば

私の幼年時代

大島原若翔会

平田 恭文

私を抱いてくれた母の温かみなどが相馬灯のようによみがえり、自然に笑顔がほころびます。気持ちや和らいで、温かい心で何度も歌い続けていくうちに頭も心もすつきりして、なんだか元気になったような思いになります。

童謡の会は2010年に結成されました。会員の皆さんも高齢化が進みましたが、この度の第14回会員の集いに発表の機会をいただき有難く思います。一つの事に向かっていく喜び、希望、勇氣、成し遂げられた感動に、年齢じゃない、ただ出来る!!と皆さんは感じられたのではないのでしょうか。

「まりと殿様」は、鞠の弾んだ様子が楽しく歌えるように、「海」は、海の昼と夜の情景の美しさや、海の音、そして「いのちの歌」は歌詞が難しく、みんなで、声を合わせて何度も読みました。ささやかな日々の中で、いつも感謝できている自分成長したいと思えました。これからも歌っていきます。皆様も入会して一緒に楽しませんか・・・。

私は、北朝鮮の日本海側のソ連領に近い所で生まれました。とても寒い所で、川も凍りその上を馬車が行き来していました。それでもスケート靴を履いて川で滑っていました。春になると解けた水が河岸を流れていましたが、それでもスケートに興じ、危険を感じたら川の中央からスピードをつけて川岸に乗り上げていました。このスケートで遊んだことが楽しい思い出の一つです。

終戦の2、3日前、ソ連艦による艦砲射撃を受け、退避、退避と叫ぶ憲兵の声の中を、祖母（父は出征中でした）が作ってくれた着替えなどを入れた風呂敷包みを背中に結びつけ、母と兄弟三人で山

の中に逃げ込みました。山の中から町を見ると、数か所で火の手が上がっていました。

自分の生まれた町が燃えるのは辛かったです。



平田さんが楽しんだスケートのイラスト

世界に一つだけの花を求めて

城山福寿会

深浦 親春

夏も力を落とし朝夕の涼風が肌に心地好いころ、庭の木陰で秋海棠（シュウカイドウ）の可憐なピンの花が咲き始めます。この秋海棠の仲間をベゴニアと言います。植物学上ではシュウカイドウ科シュウカイドウ属の植物で原種（次頁に続く）



まつお内科クリニック

循環器内科・リハビリテーション科

☎ 410-2220

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	★
14:00~18:00	●	●	△	●	●	△

★…9:00~13:00まで ※受付終了は30分前です

休診日

日曜日・祝日

お問い合わせは診療時間内をお願い致します

内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科

千鳥橋病院附属

須 惠 診 療 所

所長 岩下 早苗

須惠町大字新原232-1 (JR新原駅前)

☎ 934-0011

FAX 934-0014

だけでも二千種を超える大家族で、今でも新種発見の報告が後を絶ちません。

ベゴニアの特徴の一つに、種類が多く変化の幅が広い事があります。形態はもちろん性質も同じ様に変化幅が広く、これが同じ科の植物かと疑いたくなる程です。

そうしてもう一つの特徴は、種間交雑（異なる種の個体間で交配が行われ子孫が生じる）が可能で見かけの全く違ったものどうしの交配でも発芽可能な種子ができる事があります。ですから誰でも驚く様な品種を作り出すチャンスがある夢多き植物なのです。

私も今まで見たこと事もない美しい花を自分の手で作りだそうと、木立ベゴニアの改良を手がけました。木立ベゴニアは比較的栽培しやすく人気の高いベゴニアなのです。新しい花を作り出すためには、まず種子が必要です。そのためには、雌しべの先に花粉をつけなければなりません。ところが、改良が進み交配を重ねた優秀品種はほとんど花粉が出ないので、

花粉の出る品種は限られていますので、世界中で使われ、たいいの組合せはすでにどこかで実施済なのです。

そんな中、試行錯誤を繰り返して三十数年、いくつか満足できる品種もできました。中でも『甘い記憶』と名付けた品種は、オレンジがかつた鮮やかな赤で、5センチ程の大輪です。



深浦親春さんのベゴニア新品種『甘い記憶』（深浦親春さん提供）

コロナが流行する前まで、唐津にあるベゴニアガーデン温室の中心を飾ったものでした。なお、オーナーがインターネットで紹介してくれたので外国でも評判にな

り、特にヨーロッパの方に多く行ったとのことでした。

外国旅行中に花屋さんで日本語の名前が付いたベゴニアを見かけられたら、ひよっとしたら私の作品かもしれない。もちろん『甘い記憶』は『スイート・メモリー』になっているでしょうね。

医療施設等紹介

医療法人 岡 医院

岡 泰正 院長

『お粥の話』

「粥」と言えば、まっ先に思い出されるのは子供だった頃の風邪の病み上がり。母が枕元に運んでくれた白粥の味のなんと美味しかったことか!!。続いて記憶に甦るのは、NHKのドキュメントで観た永平寺の厨で炊かれる朝粥と、それを戴く雲水たちの作法のシーンである。

（次頁に続く）

 医療法人 **岡 医院**

内科 小児科 院長 岡 泰正

〒811-2114 福岡県粕屋郡須恵町上須恵 787-1

TEL (092) 932-0458



医療法人 **須恵中央眼科**

粕屋郡須恵町大字旅石 58-3

TEL 092-609-9666

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	○	△	○	○	—

△水曜日の午後は手術日となっております。

土曜日は12:00まで診療

休診：日曜・祝日 HP:suetyuouganka.net

曹洞宗の開祖である道元禪師の示す『赴粥飯法』には十項目にわたり粥の効能が掲げられており、何と言つても寿命が延びると説いてある。禅道場での粥は一汁一菜の主食であり、食し方にも様々の作法と教えがあつて、全てが悟りを開く為のものだそうだ。

ところで稲作が伝わつたのは三千年程前とのことで、板付遺跡や粕屋の江辻遺跡には水田跡が見つかつており、粥の歴史もその頃に始まつたらしい。米の調理法は主に蒸すか煮るかで、粥とはいえ現在のご飯の様な固さだつたとのこと。奈良時代にはほうじ茶や番茶で炊く茶粥が登場したが、今日のような汁粥が主流となつたのは平安時代になつてからとある。粥の字の両側の弓の形は、立ち上る湯気を表し、旧字体「鬻」の下方にカマドの形の部首が在るのは、なるほどな…と面白い。

話は変わるが、十年余り前の午後の診察室でのこと。名前を呼ぶと、高潔な佇まいの80代も後半の紳士が入つてこられた。片手にあ

る大学ノートの表紙には「料理教室備忘録」と書かれた文字があり、目に入った。診察も終えて伺つてみると「長年の転勤生活を支えてくれた女房も、苦勞のせいか今は台所にも立てなくなつてしまい、これからは恩返しに私が厨房に立つことにしました」との話であり、いたく感銘した。折しも『今日の料理』で「おいしいお粥の作り方」なる番組を視聴したばかりだつたが、「もし奥さんが風邪で寝ていらしたら、貴殿はどうしますか？」と3名のゲストを招いてのレッスン風景であつた。

後日の診察室でご夫人方に「貴女の具合が悪いとご主人もさぞかし不自由でしょうね」と問いかけてみると、大抵の返事は「何にもしてはくれません」と、私も少し肩身の狭い思いがした。可笑しかつたのは、「何もできんからと、隣に布団を敷いて寝ています」との答えだつた。何故か伊丹十三監督のオムニバス映画『タンポポ』の中で、妻の危篤を聞きつけて大急ぎで帰宅した夫が、病床の妻に

夕食を作つて貰う場面が思い浮かんで来た。

孟子の言葉に「君子遠庖厨」とあるのと全くわけは違うが、男子が台所に入るのは今は普通であり、内閣府統計によれば50%の御主人が家事を手伝い、20代では60%で30代では40%の夫が料理をしているとの結果であつた。

そこでご主人方へ：奥様のために美味しいお粥を作つて差し上げてみては如何でしょう。

健康の為には「腹八分目に医者いらず」。体が弱つた時にも心が疲れた時にも、お粥を一粒一粒味わつてみましょう!!

「粥」は命を延ばす。



岡医院の外観と正面玄関 (岡医院提供)

会 員 訃 報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

- 甲植木 有江 スエノ 様 98歳
令和5年6月27日
- 甲植木 迫屋 昇 様 96歳
令和5年7月30日
- 須 恵 本 原 敏 之 様 77歳
令和5年8月24日
- 乙植木 稲 永 靖 子 様 89歳
令和5年9月2日
- 甲植木 今 泉 敏 英 様 75歳
令和5年9月5日

広報紙 老俱たより 第二百八十八号
発行日 令和五年十一月七日
発行所 須恵町シニアクラブ連合会
須恵町上須恵一―六七―三
須恵町社会福祉センター内
TEL〇九二(九三三)二二六〇
発行人 合屋 浩寿
編集 広報部 印刷所 大道印刷

九十路をまきる

恵西百寿会

尾方 一彦 さん 88歳



私の生まれ故郷は人吉です。私の幼い命を恵み育ててくれた「球磨川」は、令和2年7月3日から4日にかけての豪雨により流域に甚大な災害が発生し、人々の生活に大きな爪痕を残しました。人吉に帰り街並みを見て、郡青色（ぐんじょういろ）の葉樹林の枝がはぎ取られ蜘蛛の糸のように四方八方絡み合い、半分は粘土に覆われた惨状に「凄まじい水の魔力」を痛感しました。

一方、車で上流に30分行くと、歳月と共に川幅は狭くなり、水は

良く澄んで水音も軽やかな心を癒す小川に生まれ変わり、せせらぎと呼びたい程細い流れに変身していました。

未曾有の大水害で荒れ狂い集落まで飲み干し、山の斜面の樹木を薙ぎ倒し土砂を巻き上げ流れる様は巨大な滝のようで、麓の家々はなす術もなく、その恐ろしい地響きに震え上がり、さしせまった危急や困難の瞬間を経験しました。しかし、昨今は山肌から滲みだした水は元の川の流れになり樹林から漏れてくる光を集め沐浴でもいかがと岩と石を縫うように流れています。また、時にはささやかな飛沫を挙げ、雑草や芒を撫でたり、蜻蛉や蝶々遊ばせたりしてのどかな風情を醸し出しています。

ところで、私は85歳まで病氣知らずでしたが、突然軽い脳梗塞を病み、左手足の麻痺れ（後遺症）で歩くのが不自由です。歩くとは止まらず少しづつと理解し、毎日リハビリに励み、旅立ちまで継続し歩いて三途の川を渡りたいと思っています（渡し賃が勿体無い）。

スナップでみる活動のあれこれ(若杉クラブ創立60周年記念式典)



受付で来場者を案内する単位クラブ女性部長の皆さん



記念表彰受賞者を案内する女性部の吉村副部長と平田副部長



記念式典に参加した皆様(アザレアホール須恵大ホール2階席)



記念表彰式で表彰状を授与する合屋浩寿会長



若杉クラブ創立60周年記念事業を報告する川上正俊副会長



記念式典で閉会のことばを述べる辻桂子副会長